

令和5年7月13日開催

豊川市国民健康保険運営協議会

令和5年度第1回議事録

豊川市福祉部保険年金課

豊川市国民健康保険運営協議会 令和5年度第1回議事録

- 1 開催日時 令和5年7月13日(木)
午後1時30分から午後2時58分まで
- 2 開催場所 豊川市役所本庁舎3階 本34会議室
- 3 委員の定数 13名
- 4 出席委員の氏名

被保険者代表	緒 河 睦 子
同	小 林 尚 美
同	榑 原 るり子
同	藪 田 千 賀
保険医・保険薬剤師代表	板 津 一 平
同	福 富 達 也
同	星 野 正 英
同	伊 藤 幸 剛
公益代表	神 谷 典 江
同	沼 田 俊 昭
同	小 林 敬 子
	以上11名
- 5 欠席委員の氏名

公益を代表する委員	渡 辺 稔 明
被用者保険等保険者を代表する委員	吉 田 雄 彦
- 6 説明のための出席者

福祉部長	小 島 基
福祉部次長	松 井 誠 治
保険年金課長	中 西 明
福祉部保険年金課 課長補佐	鈴 木 政 博
同課 課長補佐	手 塚 弘 美
同課 国保保険料係長	竹 本 裕 文
同課 国保給付係係長	佐 藤 佳代子
- 7 傍聴者 2名
- 8 議事日程
 - 議題 (1) 報告事項
 - ① 令和4年度豊川市国民健康保険の状況について
 - ② 豊川市国民健康保険条例の一部改正について

- ③ 令和5年度豊川市国民健康保険料について
- ④ 令和4年度特定健診実施状況について
- ⑤ 第2期データヘルス計画の評価及び第3期データヘルス計画の策定方針について

会議の成立

出席者数は、豊川市国民健康保険運営協議会規則第4条の規定の定足数に達している。

会議経過

午後1時30分、事務局福祉部保険年金課長の司会により開会。

○司会（中西課長）

ただ今から令和5年度第1回豊川市国民健康保険運営協議会を開催いたします。

初めに、お手元の資料、会議次第の「1」でございますが、神谷会長よりご挨拶をいただきたいと思います。

——— 会長あいさつ ———

○司会（中西課長）

ありがとうございました。

なお、本日、渡辺稔明委員及び吉田雄彦委員につきましては、所用のため欠席との連絡がございました。

それでは議事に入ります前に、本日の協議会は、豊川市国民健康保険運営協議会規則第4条の規定による定足数を満たしており、会議が成立していることをご報告いたします。

なお、豊川市審議会は原則公開となっており、本協議会につきましても、豊川市国民健康保険運営協議会の傍聴に関する取り扱いに基づき、一般に公開しております。

なお本日の傍聴人は、2名でございます。

また、会議録は、要点筆記により公開いたします。

それでは以後の進行は神谷会長にお願いしたいと思います。

●神谷会長

それでは会議次第に従いまして、次第の「2」をご覧ください。

議事録署名委員の指名を行います。

本日の議事録署名委員には、豊川市国民健康保険運営協議会規則第7条第2項により、榊原るり子委員、沼田俊昭委員、両委員を指名いたします。

それでは、本日「3」の議題は、(1)の報告事項が5件でございます。

次第「3」(1)①令和4年度豊川市国民健康保険の状況について、事務局に説明を求めます。

○佐藤係長

「令和4年度豊川市国民健康保険の状況について（資料1ページ）」説明。

———— 質疑・意見の聴取に入る ————

●神谷会長

この件について何かございますか。無いようなので、この件につきましてはご了解ということでよろしいでしょうか。それでは、議題(1)①令和4年度豊川市国民健康保険の状況についての報告は、ご了解をいただいたということで、次の議題に移ります。

———— 質疑・意見聴取終了 ————

●神谷会長

議題(1)②豊川市国民健康保険条例の一部改正について、事務局に説明を求めます。

○竹本係長

「豊川市国民健康保険条例の一部改正について（資料2、3ページ）」説明。

———— 質疑・意見の聴取に入る ————

●沼田委員

限度額は、法律等で決まっています、それを市町村の議会で審議し、議決して決定すると聞いているが、国が上げたら市町村も必ず上げるものなのか。

○竹本係長

最終的に限度額を引き上げるかどうかというのは、各市町村においての裁量となります。引き上げない市町村もありますが、概ね国の施行令に従って引き上げております。

○鈴木課長補佐

補足ですが、限度額の引上げによって、高所得者層から保険料を集め、中間所得者層の保険料を抑制する効果があります。

●神谷会長

他の委員でこの件について何かございますか。無いようなので、この件につきましてはご了解ということでよろしいでしょうか。それでは、議題(1)②豊川市国民健康保険条例の一部改正についての報告は、ご了解をいただいたということで、次の議題に移ります。

———— 質疑・意見聴取終了 ————

●神谷会長

議題(1)③令和5年度豊川市国民健康保険料について、事務局に説明を求めます。

○竹本係長

「令和5年度豊川市国民健康保険料について（資料4、5ページ）」説明。
事前質問(No.1、No.2)も併せて説明。

———— 質疑・意見の聴取に入る ————

●沼田委員

所得割、均等割、平等割の割合については、豊川市は50：35：15であるが、これは他市も同じか。

○鈴木課長補佐

50：35：15は国から基本として示されている割合となります。全市町村がこれに沿ってはいますが、完全に一緒ではなく、多少異なる割合を採用している市町村もございます。

●沼田委員

東三河各市の保険料と比べてどういう状況か。

○竹本係長

令和5年度の豊川市に関しましては、10万6,028円という、1人当たり保険料を予定しております。予算編成時の聞き取りでは、豊橋市、蒲郡市及び新城市については豊川市より下回り、田原市は上回るという状況でした。

●神谷会長

他の委員でこの件について何かございますか。無いようなので、この件につきましてはご了解ということでよろしいでしょうか。それでは、議題(1)③令和5年度豊川市国民健康保険料についての報告は、ご了解をいただいたということで、次の議題に移ります。

———— 質疑・意見聴取終了 ————

●神谷会長

議題(1)④令和4年度特定健診の実施状況について、事務局に説明を求めます。

○手塚課長補佐

「④令和4年度特定健診の実施状況について（資料6ページ）」説明。
事前質問(No.3、No.4)も併せて説明。

———— 質疑・意見の聴取に入る ————

●小林（尚）委員

特定健診の受診率が低い。かかりつけ医等で健康診査を受けた人が市に報告すれば、市は受診率に加算でき、報告した人は粗品がいただける。これを知らない人が多い。

●福富委員

私が診察する高齢者の方は受診券を使って、年に1回健診していると感じますが、働き盛りの40代50代の方が会社で健診した結果を持ってくるが、それを市に報告するという事か。

○手塚課長補佐

国民健康保険に加入の方に限ります。受診券送付の際にチラシを同封しており、今年度の健診を行っている方に報告を求めているものですが、わかりにくいかもしれません。

●小林（尚）委員

市の歯科検診の勧奨通知は、通っていない方、中断している方にはよいが、継続的に受診されている方には不向きなものである。

●神谷会長

小林（尚）委員の事前質問に関連して、歯科検診の受診券が届いたときも使い方がわかりにくい。チャートのようにして被保険者自身が、受診券などをどうしたらいいのかわかりやすくする工夫が必要と考える。

●星野委員

受診者の方の置かれている状況は多岐にわたり、そのすべてを周知するのが難しいということは理解できる。継続的に通っている人は歯科検診の受診券は使えない。だから、個人的な意見となるが診療所でわかるように説明をするのが一番と考える。

○手塚課長補佐

歯科検診の受診券は保健センターが出しておりますので、わかりやすい周知を目指し検討するよう伝えます。

●神谷会長

特定健診の受診券についても同様の検討をし、工夫してください。

他の委員でこの件について何かございますか。無いようなので、この件につきましてはご了解ということでよろしいでしょうか。それでは、議題(1)④令和4年度特定健診実施状況についての報告は、ご了解をいただいたということで、次の議題に移ります。

———— 質疑・意見聴取終了 ————

●神谷会長

議題(1)⑤第2期データヘルス計画の評価及び第3期データヘルス計画の策定方針について、事務局に説明を求めます。

○手塚課長補佐

「⑤第2期データヘルス計画の評価及び第3期データヘルス計画の策定方針について（資料7～13ページ）」説明。

事前質問(No.5、No.6)及び意見(No.1、No.2)並びに委員提供資料も併せて説明。

———— 質疑・意見の聴取に入る ————

●沼田委員

受診率の実績が約30%程度のところに目標が60%であることから、根本的に事業を見直す必要があると考え、事業の妥当性を検討する必要があると思う。

第3期においては70%を設定する想定もあると聞いたが、全国で60%を超えることができた市町村がどの程度あるのか。

○鈴木課長補佐

特定健診の全国平均は、令和3年度速報値で36.4%となっております。

●沼田委員

豊川市はまずは1、2年かけて愛知県平均を目指し、その後、国の平均を目指したらどうかと。

●藪田委員

本人が自覚して動くのが理想で、そのためのナッジ理論だが、このような形で60%を超えるような目標は難しいと考える。

○中西課長

特定健康診査等実施作成の手引きには、市町村国保は60%、全国は70%を目標との記載があります。しかし、データヘルス計画の手引きには、現実的な目標を取るべきではないかとの記載がありますので、県にも確認しながら策定していきたいと考えてます。

●神谷会長

データヘルス計画の個人的な理解としては、健康寿命を伸ばし、日本の経済の活力の源になるようにしながら長寿を目指す仕組みと考えるが、市民の間に浸透しているとは言い難い。第3期データヘルス計画の数値設定は難しい。現実と乖離した目標設定は息苦しいが、ある程度の目標値を設定しないといい施策にならないため、見極めが難しいと感じる。

●沼田委員

私も委員になるまで興味がなかったが、この協議会で「こんなにやってるのに全然市民は知らないんだ」と知り、もっとPRをして、市民に参加を促すとかできないものかと思う。

●小林（尚）委員

かかりつけ医で健康診査を1年に1回しているが、その報告の仕組みもほとんどの市民が知らない。これを皆さんに出していただいたら、受診率も上がるのではないか。

○小島部長

データヘルス計画は、受診率にクローズアップされてますが、データヘルス計画は、国保の被保険者の方の、健康寿命を上げるため、国保データベースから、例えば豊川市にはどのような病気の人が多いかなどの傾向を掴みながら、それに対する施策を実施し、結果的に皆さんの健康を高め、ひいては、健康が高まることによって、医療費が下がり、それが国民健康保険の保険料が安くなることにつながって被保険者の方に還元されるという仕組みになってます。確かに特定健診が一番大きな大元ですが、例えば豊川では、ヘモグロビンA1cの数値が高く、糖尿病予備群が非常に多いというデータが出ていましたが、この糖尿病に対する啓発をいろいろ行った結果、最近その数字が下がり、糖尿病予備群が減ったということがあります。受診率は達成できていませんが、個々に見ると着実に達成しているものがありますので、全体的なものを見てご判断いただきたいと考えております。

目標値については、第1期、第2期と国の目標に取り組みましたが、受診率については現実と大きな乖離がありますので、第3期は国の目標どおり掲げるか検討させてください。なお、受診率は、いままで様々な施策を行い、地道な努力でじわじわと少しずつ上がってきてきましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、令和2年前期の健診を中止しました。それで皆さんの健診受診のサイクルが狂った影響も大きく、受診率が大きく下がったという事情もありますので、目標値の設定を含め今後どうするかは検討の必要があると考えています。

●神谷会長

データヘルス計画は健診だけではない。中間見直しの際にがっかりしないように、委員も事務局に意見を届け、まとめていければよい。

先ほどの健診結果の報告は、このチラシの左下部分の案内のことでよいか。

●小林（尚）委員

私は受診券が来たがかかりつけ医で行っていると言った。

●福富委員

特定健診を受けた人は報告しているが、受けていない人で別で検査をし、その検査が特定健診の項目とあっていればそれを利用して報告するということか。

○鈴木課長補佐

かかりつけ医等で受診した健診の報告で想定してるのは、「国保加入以前に会社などで受診した方の結果報告」と「5月から始まる本市健診以前にご自分で人

間ドックなどを受診した方の結果報告」です。

●板津委員

企業健診をたくさん行っている、健診の訪問などされてる医療機関、例えば市民病院とかでされた健診を提出してもらおうよう周知など働きかけをしては。

○鈴木課長補佐

すべての情報を提供いただくと不必要な個人情報を集めることになりますので難しいです。病気の情報はセンシティブ情報に該当すると考えられるので、そのような方がいたら報告するよう案内を依頼することなら可能だと考えます。

○小島部長

年度の途中まで、社会保険の期間に人間ドックを受け、そのあと国民健康保険になった方の報告と、国保の被保険者の方がかかりつけ医等で特定健診の項目の検査を受けた報告が、今年度の国保の特定健診を受けた人とカウントができるということです。ただ、おそらくそのような方々が全員報告されたとしても、劇的に数字が上がるようなことは難しいと思います。

委員の皆さんが理解しにくいと感じられているようですので、工夫の仕方が必要だと考えております。これは事務局の方で宿題とさせていただいて、周知の方法、例えば今ゴミ袋としている粗品など、課題として考えさせていただきたいと考えております。

●藪田委員

今年の2月に、県が令和4年度の医療費適正化に向けた国保ヘルスアップ支援事業について医科・歯科・薬局の連携による糖尿病重症化予防モデル事業を豊橋が実践し、試行結果をもとにプログラムの工夫点、課題点を整理して、各自自治体にお知らせする話があったが今年度来ているか。どうなっているか。豊川市の抱える課題と一緒なので知りたい。

○鈴木課長補佐

現在情報はありませんが、何か展開できる情報が来ましたら、情報提供など考えさせていただきます。

●神谷会長

他の委員から何かありますか。無いようでしたら、この議題につきましてはご了解をいただいたということでよろしいでしょうか。それでは、議題(1)⑤第2期データヘルス計画の評価及び第3期データヘルス計画の策定方針についての報告は、ご了解をいただいたということで、次の議題に移ります。

———— 質疑・意見聴取終了 ————

●神谷会長

「4」その他について、事務局に説明を求めます。

○鈴木課長補佐

令和6年度予算に反映していただきたい意見、次回の開催予定について説明。

●神谷会長

ご説明ありがとうございました。質問も無いようでしたら、これで散会とさせていただきます。本日は、ご多忙のところありがとうございました。

午後2時58分閉会

上記、会議の顛末を記録し、この議事録は、真正であることを認め、ここに署名する。

令和5年 月 日

会 長

議事録署名委員

議事録署名委員